

2-34-9 三千院

天台宗 5 箇室門跡の一つ。最澄（伝教大師）が比叡山に庵を結んだ時、東搭南谷に 1 堂を建立したのが起こり。

本堂往生極楽院（重要文化財）は、江戸時代に大修理を行なったが、内陣は、比較的古形を保つ。殊に山形に板を貼り、25 菩薩の来迎図を描いた船底天井は有名で、堂内に阿弥陀如来両脇士坐像（3 体・重要文化財）が安置される。

大正初年に修補された客殿内部各室の襖は竹内栖鳳等、当時の京都画壇を代表する 5 氏の筆により飾られている。

京都市
説明板より